

2012年(平成24年)12月27日(木曜日)

(日刊)

新潟



小中3校現状のままに

中野小屋地区 住民検討委 市に要望書提出

児童生徒数の減少を受け、地区内の小中学校の在り方を議論してきた新潟市西区中野小屋地区の「学校適正配置検討委員会」は26日、市教育委員会に地区内の全小中学校

の存続を求める要望書を提出した。

検討委は、保護者やコミュニティ協議会代表らで構成され、今春から地区内の小瀬、箕木の2小学校と中野小屋中学校を統廃合するか、存続させるかについて話し合ってきた。

役所を訪問。真嶋座長は「地域と学校の関係が密接で、学校は教育の場だけでなく地域活動の核。現時点では3校を現状のまま存続させることを希望する」と述べ、要望書を市教委の上所隆・教育政策担当課長に手渡した。

この日は検討委の真嶋民雄座長ら代表3人が中野小屋地区の全小中学校の存続を求めた検討委員会委員の真嶋民雄座長(中央) 26日、新潟市役所

受け取った上所課長は「地域の意見は大切にすると強調。その上で、学校の小規模化はいい面と悪い面があり、今後一緒に考えていきたい」と話した。

中野小屋地区の全小中学校の存続を求めた検討委員会委員の真嶋民雄座長(中央) 26日、新潟市役所

受け取った上所課長は「地域の意見は大切にすると強調。その上で、学校の小規模化はいい面と悪い面があり、今後一緒に考えていきたい」と話した。